

精神・栄養・構造の三本柱を軸に施術と予防を实践
鍼灸整骨院の枠にとらわれない健康ナビゲーター

患者さんには、当院を健康のための学校だと思ってほしいです。身体の正しい使い方や理想的な食事の摂り方を私たちと共に学び、身体を整えていく。共治を実践していきます

みらい鍼灸整骨院

院長

柳 永 善

「「ルフの予定があるので、それまでに腰を良くしてほっと」
「いっしょになっても、自分の足で歩きたい！」

様々な年齢層の患者の願いに応えて改善へのゴールを目指すのが、大阪府吹田市の阪急北千里線吹田駅から徒歩5分の所にあるみらい鍼灸整骨院である。

院長の柳永善さんは鍼灸整骨院の枠にとられない健康ナビゲーターとして、精神・栄養・構造の三本柱を軸に患者のみらいの健康に繋がる施術と予防を実践している。

局所だけでなく身体全体を隈なく診る施術 血液栄養診断で患者の隠れた疾患を見つけ出す

柳院長は以前教育現場に身を置き、サッカーの指導をしていた。「試合に勝とう」と激しい練習を重ねていたため、子供たちは怪我が絶えなかったという。柳院長は「子供たちの怪我は指導者の責任」と受け止め、子供たちがスポーツで怪我をしないよう、施術家を目指したという。サッカーの指導者を辞めた柳院長は施術家になるため宮本鍼灸整骨院で修業に励んだ。国家資格を得るため専門学校にも通った。資格取得後、柳院長は「痛い部位を施術し気持ちよく帰っていただければよし！」と思っていた。ある日いつも通ってくれていた患者が旅行先でも膜下出血で倒れた。

「もし、私が少しでも予兆を見抜けていたら、適切なアドバイスが出来ていたのではないかと後悔しました」と柳院長は当時を振り返りしみじみ語る。

この時以来、局所（筋骨格）だけではなく身体全体を隈なく診る施術をしなければいけないと強く心に刻んだ。ちょうどそんな時期に、知り合いの先生から血液栄養診断の存在を知らされた。

血液栄養診断は血液データを読み取り、栄養素がどれくらい身体に入っているかを判断し栄養改善を促す。



身体の正しい使い方や理想的な食事の摂り方を教えている

くも膜下出血の場合、血液栄養診断で見ると血管が脆くなっていると予測できるため、血管を丈夫にする食べ物を取り入れれば、病気の予防に繋がる。その後、柳院長は血液栄養診断について学び、血液栄養診断士を取得するに至った。数年後、柳院長はこれまでの実績が評価されて院長代理となり、以後も一層の研鑽を積んで、平成22年には実質院長として看板を引き継いだ。それから4年を経た平成26年に、「患者さんのみらいを変えたい」との想いを込めて院の名称を『みらい鍼灸整骨院』に改めた。

患者と共に学び、身体を整えていく「共治」を実践 身体に良い調理法を情報発信する薬膳セミナーを開催

柳院長の元には様々な症状に悩む患者が遠方からも多く訪れる。年齢層は幅広く女性が多い。患者に対して「いつ頃からごのあたりが痛むのか」といった既往歴について、詳しく問診する。必要に応じて自身が学んだ血液栄養診断を実施。血液を見ることで栄養素だけではなく、患者のストレス状態もチェックすることが出来る。「メンタルな面が原因で腰痛を発症する患者さんもいて、血液栄養診断も参考にします」

流れとしては初見時に血液栄養診断のことを前もって告知し、血液データを持って来てもらう。

柳院長が行うその他の検査として、整形外科テスト・神経学検査・触診・歩行検査がある。

「歩行検査に関しては撮影した動画を見ていただくことによって、よりの確に身体の状態を認識して頂きます」

初診時は問診と検査だけで終わることもあり、患者が痛みや不調の原因を理解し施術を受けるよう説

明に力を入れる。体質改善のために4カ月かける。この期間は「全身の細胞がちょうど4カ月で入れ替わるからです」という。さらに柳院長は施術が終わった希望者に対して月に1〜2回のメンテナンスを行うなど、施術と予防に万全を期す。

「当院に来られる患者さんには、ここが健康のための学校だと思って来てほしいです。身体の正しい使い方や理想的な食事の摂り方を学ぶ場とし私たちと共に学び、身体を整えていく「共治」を実践していきたいと思っています」

柳院長は血液栄養診断で患者に足りない栄養素を補う食材を勧めるだけでなく、体質に合った食材や調理法の情報発信を行う薬膳セミナーも開催している。

「3年前から薬膳の先生と一緒に、月に1回のペースでテーマを決めてセミナーを開いています」

助産師の協力を得て産前産後の患者をサポート 従来の垣根を越えて新たな医療ネットワークを構築

柳院長は、ある妊婦の患者との出会いがきっかけで、助産師の協力を得て産前産後の患者のサポートにも力を入れている。

「出産予定1週間前の患者さんの往診に行ったところ、恥骨に痛みがあり立つことが出来ない状態でした。恥骨にストレスをかけない施術を行うと、翌日には立てるようになり2日目には歩行が可能になりました。数日後、無事に出産することが出来ました」

この、柳院長の施術を当の患者から聞いた医師や助産師は絶賛し、以来柳院長は「Birth Keeper」という団体に参加。これは助産師が立ち上げた訪問型ケアシステムで産前産後の継続したケアとチームでのサポートに特化する団体だ。



産前産後サポートチーム Birth Keeper

「痛みを抱えている産前産後の方は多く、助産師と組むことでその方たちと関わり、施術することができません。より良い出産、より良い育児のために、痛みの緩和がとても大切です。中には母乳育児で悩む方が多く、乳汁分泌促進のためのケアを助産師に教育するなど、母乳育児のサポートも行っていたいです。そうして鍼灸整骨院の先生と助産師がタッグを組む環境を整え、日本の母乳育児率を上げていきたいと思っています」

今現在、柳院長はそれを理論的に証明する論文を作成中で、後々は学会で発表する計画だ。

「Birth Keeper のような、鍼灸整骨院・助産師・医師が1つの医療チームとなって、1人の患者さんを診る体制こそ理想の形だと思っています」と熱く語る。

様々な活動を行う柳院長はより良い施術効果を実現するため新しい施術法を模索している。例えば、これまで足首の捻挫は患部を固めて安静にして改善するのが主流だったがケースによって痛みは一時的に収まっても修復過程で足首が固まり機能が低下する。結果、足首が上からず代償動作を繰り返すことで腰痛や膝痛などを数年後に発症するケースがある。しかし近年、逆に患部を動かしていくと早く回復するという症例が学会で発表された。

「こうした新しい施術法を研究すると共に、セラピストや運動指導士が垣根を越えて医療の分野でも活躍できるように、理学療法士と共に講演活動を行っています」

現在、理学療法士は決められた日数で患者にリハビリを施しているが、そこに運動指導士がサポートすることで回復が早く、予防にも繋がるなど、質の高い医療を提供することが出来るという。患者に対する理想の施術だけでなく、しかるべき医療業界の将来ビジョンを描いてみらいを変革していこうとする柳院長のチャレンジは止まるどころを知らない。



profile

柳 永善 (りゅう よんそん)

昭和49年生まれ。大阪府出身。
柔道整復師。分子栄養医学健康指導士（分子整合栄養医学協会認定資格）。血液栄養診断士（分子整合栄養医学協会認定資格）。医薬品登録販売者。大阪府生涯スポーツコーディネーター。高齢者介護予防筋力向上トレーニング指導者。コンフォ・マープルハイテック認定技術者。First Medical

代表。JSC 西日本支部長（日本カイロプラクティック師協会）。公益社団法人大阪府柔道整復師会学術部員。柔整ひかり会書記。動的安定研究会理事。Birth Keeper 理事。

平成14年宮本鍼灸整骨院入社。同22年院長就任。同26年みらい鍼灸整骨院に名称変更。

information

みらい鍼灸整骨院

◆ 所在地 ◆

〒564-0036
大阪府吹田市寿町 1-3-16
ヤングバリー 1F
TEL 06-6382-1941

◆ 設 立 ◆

平成22年2月

◆ 診療時間 ◆

月・火・木・金曜日
8:30～12:00
16:00～20:00
水曜 8:30～12:00
土・祝日 8:30～13:00
休診日：日曜

◆ アクセス ◆

阪急北千里線吹田駅より徒歩5分

■ 施術科目

- ・一般外傷(けが) 骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷など
- ・スポーツ外傷・傷害
- ・慢性疾患 肩こり・腰痛など
- ・女性疾患 生理痛・更年期障害など
- ・マタニティケア 産前産後の不調など
- ・交通事故 むち打ち

■ 大切にしている3つのこと

- ・痛み、不調の根本原因を追究・改善
- ・治すのではなく整える・治療から予防
- ・みらいへの挑戦

